



2027年3月期 第1四半期決算短信 (日本基準) (連結)

2026年8月3日

上場会社名 太陽化学株式会社

上場取引所 名

コード番号 2902 URL <https://www.taiyokagaku.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山崎 長宣

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長コーポレート本部長兼
ウェルネス推進本部長 (氏名) 山崎 長俊

TEL 059-340-0802

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績 (2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	13,618	6.6	1,922	15.9	2,118	20.3	1,436	38.3
2026年3月期第1四半期	12,779	2.6	1,658	17.2	1,760	14.6	1,038	5.7

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 1,838百万円 (82.7%) 2026年3月期第1四半期 1,006百万円 (△39.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	85.86	—
2026年3月期第1四半期	61.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	69,184	57,176	80.1
2026年3月期	69,599	56,851	79.4

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 55,441百万円 2026年3月期 55,239百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	20.00	—	89.00	109.00
2027年3月期	—				
2027年3月期 (予想)		20.00	—	81.00	101.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年 3月期の連結業績予想 (2026年 4月 1日～2027年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	28,000	7.6	3,500	△3.0	3,600	△7.1	2,400	0.4	143.41
通期	55,000	4.8	7,000	△1.1	7,200	△8.0	4,800	△8.0	286.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社 (社名) , 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無
- (4) 発行済株式数 (普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|------------|--------------|------------|--------------|
| ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) | 2027年3月期1Q | 23,513,701 株 | 2026年3月期 | 23,513,701 株 |
| ② 期末自己株式数 | 2027年3月期1Q | 6,778,511 株 | 2026年3月期 | 6,778,511 株 |
| ③ 期中平均株式数 (四半期累計) | 2027年3月期1Q | 16,735,190 株 | 2026年3月期1Q | 16,868,593 株 |

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、高水準な賃上げの継続による所得環境の改善や、底堅い設備投資に支えられ、緩やかな回復基調で推移しましたが、中東情勢の不安定化や地政学リスクの長期化に加え、円安の定着に伴う輸入物価の高騰が下押し圧力となっており、依然として先行きが不透明な状況にあります。

当事業の主要分野であります食品業界におきましては、健康志向の高まりを背景とした付加価値商品への需要が堅調に推移しましたが、相次ぐ物価高騰による消費者の節約志向が一段と定着しており、購買行動の選別が厳格化するなど、企業を取り巻く事業環境は厳しい状況が続いております。

このような環境の中で当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）は、引き続き対処すべき課題として

- ①市場変化への対応
- ②販売の強化（グローバル化）
- ③品質管理体制の維持・強化
- ④環境への取り組み
- ⑤人材育成
- ⑥ガバナンスの強化

を掲げ、企業価値の向上に取り組んでおります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、136億18百万円（前年同四半期比6.6%増）となりました。

営業利益は、19億22百万円（前年同四半期比15.9%増）となりました。経常利益は、21億18百万円（前年同四半期比20.3%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、14億36百万円（前年同四半期比38.3%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントの状況は次のとおりであります。

■ ニュートリション事業

医療、健康食品及び飲料業界等にカテキン（緑茶抽出物）、テアニン（機能性アミノ酸）、水溶性食物繊維等の機能性食品素材、ミネラル製剤、ビタミン製剤等を製造、販売しております。

水溶性食物繊維は、国内、アジア及び欧米市場が増加しました結果、売上高は前年を上回りました。

カテキンは、米国市場が減少しましたが、国内、アジア及び欧州市場が増加しました結果、売上高は前年を上回りました。

ミネラル製剤は、アジア及び米国市場が減少しましたが、欧州市場が増加しました結果、売上高は前年を上回りました。

テアニンは、国内、アジア及び欧州市場は減少しましたが、米国市場が増加しました結果、売上高は前年を上回りました。

この結果、売上高は、45億92百万円（前年同四半期比19.3%増）、営業利益は、10億63百万円（前年同四半期比35.7%増）となりました。

■ インターフェイスソリューション事業

乳製品、飲料、菓子、パン、加工油脂等の業界、及び化粧品、トイレタリー業界等に、乳化剤等の品質改良剤を製造、販売しております。

化粧品・トイレタリー用途は、国内・アジア及び欧州市場が増加しました結果、売上高は前年を上回りました。

飲料用途は、国内及びアジア市場が減少しました結果、売上高は前年を下回りました。

一般食品用途は、国内及びアジア市場が増加しました結果、売上高は前年を上回りました。

この結果、売上高は、37億76百万円（前年同四半期比3.3%増）、営業利益は、5億42百万円（前年同四半期比5.6%減）となりました。

■ ナチュラルイングリディエント事業

乳製品、飲料、菓子、パン、総菜、即席めん、農産加工業界等に、鶏卵加工品、たん白素材、即席食品用素材、農産加工品等の食品素材、品質改良剤、安定剤等を製造、販売しております。

鶏卵加工品は、液卵、調味料用途等の粉末卵が増加しましたが、国内市場のめん用途の粉末卵が減少しました結果、売上高は前年を下回りました。

即席食品用素材は、国内市場は増加しましたが、アジア市場が減少しました結果、売上高は前年を下回りました。

安定剤は、デザート用途が増加しましたが、惣菜用途、冷菓用途及び飲料用途が減少しました結果、売上高は前年を下回りました。

この結果、売上高は、52億4百万円（前年同四半期比0.6%減）、営業利益は、3億5百万円（前年同四半期比6.2%増）となりました。

■ その他

料理飲食等の事業を行っております。

売上高は、44百万円（前年同四半期比8.7%増）、営業利益は、11百万円（前年同四半期比11.3%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は379億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億25百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が5億31百万円、商品及び製品が7億45百万円増加、現金及び預金が19億34百万円減少したことによるものであります。固定資産は312億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億10百万円増加いたしました。これは主に建物及び構築物（純額）が4億35百万円、投資有価証券が1億92百万円増加、機械装置及び運搬具（純額）が1億52百万円、有形固定資産その他（純額）が2億87百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、691億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億14百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は99億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億20百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が3億33百万円増加、未払法人税等が10億46百万円、流動負債その他が1億25百万円減少したことによるものであります。固定負債は20億69百万円となり、前連結会計年度末に比べ80百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は、120億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億39百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は571億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億25百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益14億36百万円の計上、その他有価証券評価差額金が1億9百万円、為替換算調整勘定が1億74百万円、非支配株主持分が1億23百万円増加、配当金の支払により14億90百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は80.1%（前連結会計年度末は79.4%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年5月11日の「2026年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,879,583	11,945,375
受取手形及び売掛金	11,133,452	11,665,392
電子記録債権	679,426	700,619
商品及び製品	6,793,029	7,538,472
仕掛品	812,479	804,864
原材料及び貯蔵品	4,128,910	4,187,705
その他	1,152,122	1,116,939
貸倒引当金	△38,959	△44,890
流動資産合計	38,540,045	37,914,478
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,892,897	9,328,140
機械装置及び運搬具（純額）	5,074,403	4,921,570
土地	8,166,432	8,166,581
その他（純額）	1,725,678	1,437,786
有形固定資産合計	23,859,412	23,854,078
無形固定資産	141,350	135,806
投資その他の資産		
投資有価証券	6,754,023	6,946,833
その他	317,784	346,516
貸倒引当金	△12,950	△12,950
投資その他の資産合計	7,058,857	7,280,399
固定資産合計	31,059,619	31,270,285
資産合計	69,599,665	69,184,763

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,112,633	6,446,169
未払法人税等	1,605,528	559,348
賞与引当金	368,526	386,154
その他	2,672,837	2,547,423
流動負債合計	10,759,525	9,939,096
固定負債		
長期借入金	383,371	388,930
退職給付に係る負債	25,574	26,154
役員退職慰労引当金	303,665	303,665
その他	1,276,070	1,350,366
固定負債合計	1,988,680	2,069,116
負債合計	12,748,205	12,008,213
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,730,621	7,730,621
資本剰余金	7,380,760	7,380,760
利益剰余金	43,366,688	43,290,126
自己株式	△7,565,534	△7,565,534
株主資本合計	50,912,535	50,835,973
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,625,295	2,735,219
繰延ヘッジ損益	7,738	2,106
為替換算調整勘定	1,682,146	1,856,857
退職給付に係る調整累計額	11,456	11,074
その他の包括利益累計額合計	4,326,637	4,605,256
非支配株主持分	1,612,286	1,735,320
純資産合計	56,851,459	57,176,550
負債純資産合計	69,599,665	69,184,763

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2026年 4 月 1 日 至 2026年 6 月 30 日)
売上高	12,779,868	13,618,090
売上原価	8,975,486	9,226,104
売上総利益	3,804,382	4,391,985
販売費及び一般管理費	2,145,410	2,469,234
営業利益	1,658,972	1,922,751
営業外収益		
受取利息	11,744	45,029
受取配当金	40,732	44,154
持分法による投資利益	32,636	38,185
為替差益	—	69,300
保険解約返戻金	40,734	—
その他	25,214	39,813
営業外収益合計	151,062	236,482
営業外費用		
支払利息	6,623	9,730
貸与資産減価償却費	12,682	16,136
為替差損	22,065	—
その他	7,770	14,432
営業外費用合計	49,141	40,299
経常利益	1,760,892	2,118,934
特別損失		
固定資産除売却損	3,193	46,286
役員退職慰労金	240,519	—
特別損失合計	243,712	46,286
税金等調整前四半期純利益	1,517,179	2,072,647
法人税等	394,309	555,931
四半期純利益	1,122,870	1,516,716
非支配株主に帰属する四半期純利益	84,213	79,769
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,038,657	1,436,946

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2026年 4 月 1 日 至 2026年 6 月 30 日)
四半期純利益	1, 122, 870	1, 516, 716
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18, 690	119, 375
為替換算調整勘定	△175, 821	217, 974
退職給付に係る調整額	22, 647	△382
持分法適用会社に対する持分相当額	17, 977	△15, 084
その他の包括利益合計	△116, 506	321, 883
四半期包括利益	1, 006, 363	1, 838, 599
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	963, 730	1, 715, 566
非支配株主に係る四半期包括利益	42, 633	123, 033

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
減価償却費	433,838千円	491,793千円

（セグメント情報等の注記）

Ⅰ 前第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ニュー トリション 事業	インター フェイス ソリュー ション 事業	ナチュラル イングリ ディエント 事業	計		
売上高						
日本	1,504,366	3,101,320	4,415,776	9,021,463	37,045	9,058,508
アジア	407,399	453,225	818,376	1,679,001	4,313	1,683,315
アメリカ	1,458,547	7,237	—	1,465,784	—	1,465,784
欧州	479,517	92,742	—	572,260	—	572,260
顧客との契約から生 じる収益	3,849,831	3,654,525	5,234,153	12,738,509	41,358	12,779,868
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	3,849,831	3,654,525	5,234,153	12,738,509	41,358	12,779,868
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,849,831	3,654,525	5,234,153	12,738,509	41,358	12,779,868
セグメント利益	783,339	574,984	287,682	1,646,006	12,965	1,658,972

（注） 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、料理飲食等の事業であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ニュー トリション 事業	インター フェイス ソリュー ション 事業	ナチュラル イングリ ディエント 事業	計		
売上高						
日本	1,633,656	3,130,476	4,423,772	9,187,905	39,905	9,227,810
アジア	462,641	520,496	780,989	1,764,127	5,055	1,769,183
アメリカ	1,828,516	4,613	—	1,833,129	—	1,833,129
欧州	667,263	120,703	—	787,966	—	787,966
顧客との契約から生 じる収益	4,592,077	3,776,290	5,204,761	13,573,129	44,960	13,618,090
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	4,592,077	3,776,290	5,204,761	13,573,129	44,960	13,618,090
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,592,077	3,776,290	5,204,761	13,573,129	44,960	13,618,090
セグメント利益	1,063,064	542,644	305,541	1,911,250	11,500	1,922,751

（注） 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、料理飲食等の事業であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。